

【教員氏名】

内山 令和
研究室:聖アンデレ館 8 階 821 号室
メールアドレス:uchiyama@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

本講義では ASEAN(東南アジア諸国連合)加盟 10 カ国の経済とその地域協力、日本との経済関係について解説する。80 年代から工業化や経済成長を遂げた ASEAN4、後発国である CLMV 諸国の中からいくつかの国の経済を取り上げて概説する。

第 1 部:ASEAN の地域協力(第 3 回~第 4 回)

第 2 部:ASEAN 先発国の経済(第 5 回~第 10 回)

第 3 部:ASEAN 後発国(CLMV 諸国)の経済(第 11 回~第 14 回)

【学習目標】

東南アジア諸国の経済問題や周辺情勢に関心を持つこと。
B.バラッサの経済統合理論を抑えうえて、ASEAN の地域協力や市場統合の現段階を把握すること。
ASEAN 諸国について、対象国の経済的な課題や日本との関係性、直接投資先としての優位性と劣位性をどうみるかなど、あらゆる角度から考える力を身につけること。

【講義計画】

- 第 1 回:ガイダンス:講義の進め方と重点、アジア経済を見る視点
第 2 回:東アジア経済発展の経緯
第 3 回:ASEAN(東南アジア諸国連合)の地域協力について、B・バラッサの経済統合理論
第 4 回:ASEAN 経済統合への動きと課題 - AFTA から AEC へ
第 5 回:ASEAN4:マレーシアの概況、大戦後の歩み(5・13 事件、マハティール元首相の開発主義、プミトラ政策)
第 6 回:ASEAN4:マレーシア経済の概況(産業構造、貿易・直接投資)と経済成長の動向、日本との関係
第 7 回:ASEAN4:マレーシアの外資導入政策と投資環境
第 8 回:ASEAN4:タイ経済の概況と大戦後の歩み(5 月事件、軍事政権と文民内閣の確執)
第 9 回:ASEAN4:タイ経済の概況(産業構造、貿易・直接投資)と経済成長の動向、日本との関係
第 10 回:ASEAN4:タイの外資導入政策と投資環境
第 11 回:ASEAN 後発国(CLMV 諸国)の経済、メコン圏の地域経済協力
第 12 回:CLMV 諸国の概況と大戦後の歩み
第 13 回:CLMV 諸国の経済概況(産業構造、貿易・直接投資)と経済成長の動向、日本との関係
第 14 回:CLMV 諸国の外資導入政策と投資環境
第 15 回:総括

【成績評価の方法】

試験評価:80% レポート:0% 出席:20%
基本的に出欠はとらない。成績評価は期末試験を重視する。場合によっては、中間試験を行う。

【使用テキスト】

坂田幹男・内山令和『アジア経済の変貌とグローバル化』晃洋書房

【参考文献】

日本の外務省や経済産業省、JICA(国際協力機構)、JETRO(日本貿易振興機構)、JBIC(国際協力銀行)、IMF(国際通貨基金)、日本アセアンセンター、現地政府の報告書等。

【準備学習の指示(事前学習 30 時間、事後学習 30 時間)】

ASEAN に関するニュースを新聞、雑誌、書籍、インターネット等を利用し、随時フォローしておくこと。

【その他備考(担当教員用)】**【備考(管理者用)】**

(旧:アジア経済論)02~10 生読替